

クラス全員が心をひとつに・子どもの成長ぶりに感動

ゆめ中央保育園 生活発表会

ゆめ中央保育園で12月13日(土) 第5回幼児組の生活発表会が行われました。会場は200人余りの保護者の方々で熱気ムンムン・・・オープニングは、キラキラ蝶ネクタイをつけた3歳児の元気いっぱいの歌声でスタート。4歳児の劇あそび「西遊記」では、孫悟空や猪八戒、他の出演者も長いセリフを立派にこなし、笑いも誘う4歳児とは思えぬ活躍ぶり。かと思うと、ハンドベルの演奏では、優しく会場を包んでくれたのも4歳児。そして、5歳児は素晴らしい発音で英語朗読を聞かせてくれ、大通りの劇遊び「ピーターパンの冒険物語」では、まるで劇団四季みたいねと来賓や保護者の方々からお褒めの言葉を頂くほど、いきいきとした舞台を見せてもらいました。練習中から子ども達のアイデアがいっぱい飛び出し、自分達で自主的に作り上げる喜びを感じながらクラス全員が心ひとつにしていったようです。保護者の皆様も笑ったり泣いたり子ども達の成長ぶりに感動し、拍手の渦に包まれた1日となりました。



来春は隆生福祉社会の一員

内定式

2015年春卒業予定者の内定式が10月25日(土)、法人本部で行われました。初めは緊張の面持ちと、どのような同期メンバーがいるのだろう不安そうな様子でしたが、自己紹介、法人紹介や先輩職員からの海外研修体験談、グループワークなどを通じて、和気あいあいとした雰囲気で内定式を終えました。その後の懇親会では、理事長や各施設長とテーブルを囲み自らの学生生活での取り組みや入職を決めた理由など様々な話をする中で、内定者の顔も心も引き締まり、来春から隆生福祉社会の一員となる決意を新たにすることができました。



大阪市のシカゴ市社会事業従事者研修プログラムに参加

平成26年11月1日~9日大阪市・シカゴ市社会事業従事者研修・プログラムに中野地域包括支援センターの山口由美が参加しました。シカゴ市の取り組みにたくましさや強さ、創意工夫を見ると共に、日本の良さというのも改めて感じることができました。



2002年ギネスブック認定、世界で最もセラピー効果のあるアザラシ型ロボット「パロ」

ゆめパラティースにアザラシ型ロボット「パロ」がやってきました。パロはギネスブック(2002年)にも「世界で最もセラピー効果のあるロボット」として認定されており、人の呼びかけに反応し、抱きかかえられたりなでられると鳴き声を上げたり気持ちよさそうなしぐさで喜びを表します。パロは人の心を元気づけ、穏やかにするといわれています。ご利用者様は、パロとのふれあいをとても喜んでおられます。



編集後記

2015年、新しい年が明けスタートを切った隆生福祉会。新ホームページのオープン等もあり、更に発信していく機会が広がっております。「ゆめだより」につきましてはこれからも様々な角度から法人の様子等わかりやすく、ご興味を持って頂ける内容の紙面づくりを心がけて参ります。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

広報専外室

隆生福祉会季刊誌「ゆめだより」は広報専外室のスタッフが企画・編集しています。

社会福祉法人 隆生福祉会 季刊誌

Vol.17



Smiles and Dreams for All

2015年冬号
2015.1.10発行

●隆生福祉会 広報専外室
〒546-0013
大阪市東住吉区湯里1-3-22
tel 06-6701-5820
fax 06-6705-5108
http://www.smile-yume.com

HEAD LINE

新年のご挨拶
訪問看護事業開始
ゆめリンピック開催
北欧研修&EU会議参加
フィンランド実習報告
法人の取り組み

新年あけましておめでとうございます。



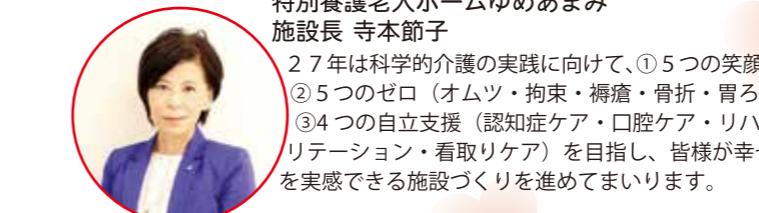
社会福祉法人 隆生福祉会
理事長 藤本 加代子

昨年は、5月に特別養護老人ホームゆめパラティースをオープンし、10月には大阪国際会議場にて、国際交流セミナー“Hanako Seminar in OSAKA JAPAN”を、開催することができました。そして12月には、大阪市都島区に念願の訪問看護ステーションをオープンし、医療面で在宅ケアを支援する運びとなりました。また、市民交流センターひがしうみよしにて、“第1回ゆめリンピック”を開催し、職員の技術や活力、団結力を高めることが出来ました。

“光陰矢の如し”といいますように一年があつという間に過ぎていきます。ちょうど去年の今頃は、ゆめパラティースの準備に奔走していたのを、つい昨日のことのように思い出されます。今年も昨年同様、実りある一年を送りたいと願っています。皆様により一層の貢献が出来ますよう、職員一同心を合わせて努力して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

各施設長ご挨拶

特別養護老人ホームゆめあまみ 施設長 寺本節子



27年は科学的介護の実践に向けて、①5つの笑顔
②5つのゼロ（オムツ・拘束・褥瘡・骨折・胃ろう）
③4つの自立支援（認知症ケア・口腔ケア・リハビリテーション・看取りケア）を目指し、皆様が幸せを実感できる施設づくりを進めてまいります。

特別養護老人ホームゆめパラティース 施設長 加藤正人



ゆめパラティースは、お陰様で2年目を迎えることができました。昨年5月に開所し、特養・ショートは早期に満床となり、デイサービスも順調に推移し地域福祉に貢献できたのではないかと思っております。今年は、更なるサービスの充実を図り、「ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、職員、法人」のすべてに、笑顔の花を咲かせられるよう頑張って参る所存でございます。

ゆめ都島 施設長 大野義典



ゆめ都島はおかげさまをもちまして、15年目を迎える事となりました。今年も隆生福祉会発祥の地である都島区で地域福祉の一翼を担うべく、職員一同取り組みます。ご利用者様に「ゆめに来てよかったです。」と仰って頂けるように、日々努力を重ねてまいります。

デイサービスセンター グループホームゆめ長居公園 施設長 岡田恵介



本年もゆめ長居公園は笑顔溢れる施設『テーマパーク』のような運営をしてまいります。ご利用者様はもちろんのこと、訪れる人皆様が、そして働くスタッフみんなが笑顔いっぱいの一年間になるよう精進してまいります。

ゆめ中央保育園 園長 大谷五十鈴

昨年は、フィンランドにおける幼児教育の第一人者の先生方をお迎えし、北欧にはない運動会を観て頂き、また、私自身が北欧研修に参加し、メディア教育を始め特徴ある保育現場を視察して参りました。「子ども子育て支援新制度」がスタートする本年、国際交流を通じて得たグローバルな感性で、職員一同丸となって世界に羽ばたく子供たちを育んで参ります。

東住吉区中野地域包括支援センター センター長 米田直美



中野地域包括支援センターは、大阪市委託事業として第2期の最後の年を迎えます。27年度再公募に向けて、3期目も受託できるようしっかりと準備を進めていきたいと思っております。地域の高齢者の方々や関係機関にとって、中野包括支援センターが、一番身近で頼っていただける存在であるよう職員一同、邁進致します。

都島区北部地域包括支援センター センター長 松木涼子



今年は、団塊の世代が75歳になる2025年にむけて介護保険の大きな制度改革が行われ「地域包括ケアシステム構築」に向け本格的に始動します。自助・互助・共助・公助を基本とした「新しい総合事業」も始まり地域包括支援センターの役割も益々大きくなってきました。これまで築いてきた地域の支援者、関係機関との連携を深め、地域包括ケア推進を担う機関として一層努力してまいります。

「生活の場でその人らしい生き方ができる」在宅ケアを支えます

待望の！訪問看護ステーションゆめ 平成26年12月1日開所！



大阪市都島区に「訪問看護ステーションゆめ」を開所致しました。開所式には多くの地域の方々にお越し頂き、大きな期待と激励を頂きました。「訪問看護」とは、看護師がご利用者様の自宅に出向きケアをすることです。高齢化や一人暮らし、病気などによって自分らしい生活を続けることが難しくなったとき、支える体制があれば希望する場所で生活を続けていくことができます。生活の場でその人らしい生き方ができるよう支援していくこと、持てる力（能力）を最大限に発揮して頂き、希望する生活のあり方を確認し目標と共に見いだす支援を行うことが、訪問看護師の大切な役割、醍醐味と考えています。「生活の場でその人らしい生き方ができる」その実現のためには多職種の方々との連携が必要不可欠であり、それぞれの担当する職種が情報を共有し、支援の方向、目標を明確にしながら役割を担い、繋ぎ、支援体制を整えること、その核となるステーションになれるよう所長・入口をはじめ、職員一同明るく楽しく前向きに頑張って参ります。どうぞ、よろしくお願い致します。



所長・入口を囲んで

訪問看護ステーションゆめ

住所： 大阪市都島区大東町 2-2-18
電話： 06-6926-2833
管理者： 入口 真紀子

EU高齢者ケア会議 (EFEC) にオブザーバー参加

フィンランドとエストニアを視察

2014年11月30日～12月6日、フィンランドとエストニアへ理事長他4名が視察に行って参りました。

今回は、4年間築いてきたフィンランド・ハナコネットワークに招待され、EU高齢者ケア会議 (EFEC) にオブザーバー参加して参りました。この会議はEU6ヶ国（ドイツ、イタリア、フィンランド、エストニア、リトアニア、スコットランド）が集まり、ヨーロッパに於ける高齢者ケアスタッフの教育訓練単位取得制度について標準化することを目的に12月3日にエストニアのタリンで開催されました。この他に、高齢者施設、公立保育園、総合病院等多くの施設を視察して参りました。12月5日には在フィンランド日本大使館を表敬訪問しました。特命全権大使篠田研次氏他2名の方にお会いし、昼食をご馳走になり、ハナコネットワークにおける隆生福祉会の取り組みについて説明致しました。篠田大使から「素晴らしい交流を続けている。」と賞賛と激励のお言葉を頂きました。



カウクラハティ地区 市営高齢者施設



EU 高齢者ケア会議



オムニア職業学校



高齢者施設
イル・フルデコディュ



ネイドンカッリオ保育園



在フィンランド日本国大使館 篠田特命全権大使を囲んで



ハーパヤルヴィ保育園



タリン・ラナック保育園



東タリン総合病院

法人の活力と団結力を高める！

第1回ゆめリンピック開催

第1回ゆめリンピックが12月13日（土）に市民交流センターひがしみよしに於いて開催され、職員150名が参加して熱戦が繰り広げられました。ゆめリンピックは、隆生福祉会のすべての職員が心技体を磨き高め、活力のある強固な組織作りをしていくために切磋琢磨し、相互に研鑽し合う場として今年から開催されることとなりました。法人の施設を6ブロックに分け、対抗で職員の専門性とチームワークを競い合うといった内容です。種目は3つ。1つ目は介護技術とチームワークを競い合う「ケアテク」部門、2つ目は働きやすい職場に維持改善していく為の職員自らの活動「8S」部門、3つ目はご利用者様が満足、感動するための取り組み（企画）や成果を発表する「感Dio」部門です。ブロックで予選を勝ち抜いた代表職員達が、介護技術を競い合い、取り組みを発表しました。真剣な競技に各施設の職員達が横断幕を掲げるなど、熱い応援を行っていました。結果発表と表彰は新年方針発表会で行われます。職員は日々、丁寧な介護技術を身に付け、チームワークを高める努力をしています。ご利用者様のサービスに生かせるよう、職員一同頑張っていきます。



第1回 ケアテク・8S・感Dio 3つの種目で介護の頂点を目指せ！

ゆめリンピック



フィンランド施設実習報告

高齢者施設ヴィラ・タピオラ

特別養護老人ホームゆめあまみ
介護職 松本 美穂



高齢者施設ヴィラ・タピオラ

特別養護老人ホームゆめパラティース
看護主任 中村 康子



この研修で学んだ事は、介助者とご利用者様との関わり方です。

ヴィラ・タピオラではご利用者様=家族・大切な人の意味を表すご利用者様は、職員を信頼し、自由に生き生きとまるで自宅のような環境で確かに過ごされていますし、職員はご利用者様のリズムにあわせた介護を行っていました。このようにご利用者様と職員の信頼に基づく自然な表情や雰囲気にとても心をうたれました。この経験を活かし、ゆめあまみでも日々の対応や時間の大切さ、またご利用者様に見合った過ごし方にもっと注目し気を配っていきたいと思います。

公立ヴオレンマキ保育園

ゆめ中央保育園
保育士 牧田 麻希



高齢者施設ヴィラ・タピオラでは、30名のご利用者様が入居しており、職員は、23名がシフト制で勤務しています。人員配置としては、ご利用者様4：職員3で日本の（3：1）に比べて職員数が多いと感じました。

また、ご利用者様お一人に対して、看護師もしくは介護職が、その方の担当として健康状態・服薬管理など日常生活はもちろんのこと看取りやご家族様との連絡などすべてを把握、管理していることで、ご利用者様は安心して施設の生活を楽しんでいらっしゃいました。介護職は准看護師の資格を持ち、業務内容は看護師と大きな違いはありませんでした。福祉先進国フィンランドでの介護、医療の教育のレベルの高さ、それが介護の質の向上につながっていることを実感した研修でした。

ヴオレンマキ保育園は、プリスクール（保育園から小学校へスムーズな移行）に特徴がある保育園です。今回、本園で取り組んでいる「メディア教育」はもちろんのこと、新たに「ハンガリー式算数」を学んできました。5～7人の少人数で、遊びの中で数の認識をゲーム感覚で身につけていることが印象的でした。フィンランドの幼児教育は、自分達で考えたり、感じたりする事により想像力が広がる事を大切にし、また、少人数のクラス運営は、子ども達一人ひとりと目を見て話すことができ、子どもの発信するアイデアをゆっくり聞くことができます。このように結果よりも過程の方が大切という考え方共感しました。